

盛岡 広域振興局長

提出者 JA全農Aコープ株式会社

住所 〒245-0014 神奈川県横浜市泉区中田南3-2-38

氏名 代表取締役社長 宗村 達夫

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

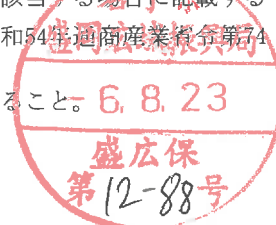
主たる工場又は事業場の名称	JA全農Aコープ株式会社 岩手営業所	*整理番号			
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市仙北二丁目5-4	*受理年月日	年 月 日		
エネルギー使用量	3,835 kl	*施設番号			
自動車の使用台数	102 台				
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。				
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況					
その他の地球温暖化の対策の実施状況					
変更年月日及び理由	年 月 日				
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない				

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
JAファーマーズいわて平泉	〒021-0032 一関市末広1-2-6	304 kl
Aコープ飯岡駅前店	〒020-0834 盛岡市永井20-3-1	247 kl
Aコープひがしやま店	〒029-0302 一関市東山町長坂字西本町123-2	156 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
Aコープごしょ店	〒020-0583 岩手郡雫石町西安庭40-48-1	113 kℓ
Aコープゆざわ店	〒020-0844 盛岡市湯沢東1-3-11	125 kℓ
純情市場さっくら／岩手営業所	〒020-0861 盛岡市仙北2-5-4	76 kℓ
Aコープゆぐち店	〒025-0042 花巻市円万寺法船134-3	82 kℓ
セレモニーホールいわて	〒020-0861 盛岡市仙北2-5-4	71 kℓ
Aコープふじさわ店	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字町裏99-2	62 kℓ
ギフトセンター	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-5-2	28 kℓ
ギフトセンター(県南)	〒023-0035 岩手県奥州市水沢赤土田14-1	13 kℓ
新しいわて食材宅配センター	〒028-4132 岩手県盛岡市洪民字鶴飼1-1	677 kℓ
岩手中央食材宅配センター	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-5-2	92 kℓ
花巻食材宅配センター	〒025-0011 岩手県花巻市矢沢5-239-1	390 kℓ
遠野食材宅配センター	〒028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩15-10-1	438 kℓ
奥州・江刺食材宅配センター	〒023-0829 岩手県奥州市水沢花園町2丁目8-15	563 kℓ
平泉食材宅配センター	〒021-0002 岩手県一関市中里字上大林157-1	398 kℓ
		kℓ

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(令和5) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化 炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位 B	数値 C	単位 D	数値 E	単位 F				
化石 燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL						
	揮発油(ガソリン)		kL		kL						
	ナフサ		kL		kL						
	ジェット燃料		kL		kL						
	灯油	5.95	kL	217	kL		217		15		15
	軽油		kL		kL						
	A重油		kL		kL						
	B・C重油		kL		kL						
	石油アスファルト		t		t						
	石油コークス		t		t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	67.70	t	3,392	t		3,392	203		203
	可燃性天然ガス	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
		液化天然ガス(LNG)		t		t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
	石炭	輸入原料炭		t		t					
		原料炭		t		t					
		コークス用原料炭		t		t					
		吹込用原料炭		t		t					
		一般炭		t		t					
		国産一般炭		t		t					
	輸入無煙炭		t		t						
	石炭コークス		t		t						
	コークス		t		t						
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
	高炉ガス		千m ³		千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
転炉ガス		千m ³		千m ³							
都市ガス		千m ³		千m ³							
	その他の燃料()										
非 化石 燃料											
	黒液		t		t						
	木材		t		t						
	木質薪材		t		t						
	バイオエタノール		kL		kL						
	バイオディーゼル		kL		kL						
	バイオガス		千m ³		千m ³						
	その他バイオマス		t		t						
	RDF		t		GJ/t						
	RPF		t		GJ/t						
	廃タイヤ		t		GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
	廃油		kL		GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
混合廃材		t		t							
水素		t		t							
アンモニア		t		t							
その他燃料()											
小 計 ①							3,609	218		218	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
	温水		GJ		GJ						
	冷水		GJ		GJ						
	地熱		GJ		GJ						
	温泉熱		GJ		GJ						
	太陽熱		GJ		GJ						
	雪氷熱		GJ		GJ						
	小 計 ②										
	電気事業者①	3,931.81	千kWh	33,971	千kWh		33,971	1,875		1,875	
	電気事業者②(※重複契約している場合使用 自己託送(非燃料由来を除く))		千kWh		千kWh						
	自家発電		千kWh		千kWh						
太陽光		千kWh		千kWh							
水力		千kWh		千kWh							
風力		千kWh		千kWh							
その他		千kWh		千kWh							
小 計 ③							33,971	1,875		1,875	
合 計 ④=①+②+③							37,580	2,093		2,093	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	970	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの純排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	2,093	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		2,093	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・Web会議の実施を勧める等燃料使用削減に努めた。

前年度に引き続きWeb会議を推奨している。

【具体的な取組状況】

- ・ハイブリット車がある事業所は、ハイブリット車を優先的に活用し燃料使用量削減に努めた。
- ・車両運転時はアイドリングストップを実践し、エコドライブに努めた。

こちらも前年度に引き続き実施中。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（令和5年度）			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	91 (9)	320,711 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	734,469 kg-CO ₂	101%
軽油	11 ()	36,826 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	96,465 kg-CO ₂	117%
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	102 (9)			830,933 kg-CO ₂	

備考 1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項